

京都大学複合原子力科学研究所
「放射性廃棄物処分に係わる生活圏被ばく線量評価パラメータ」専門研究会
プログラム

主催：京都大学複合原子力科学研究所
共催：日本保健物理学会、日本原子力学会保健物理・環境科学部会

2020年12月17日 13:30-17:00

13:30-13:35 (5分)

開会の挨拶

内田滋夫 (量研機構)

13:35-13:45 (10分)

趣旨説明：放射性廃棄物処分に係わる生活圏被ばく線量評価モデル及びパラメータ

高橋知之 (京都大学)

13:45-14:05 (20分：15分+5分)

座長：内田滋夫 (量研機構)

日本の放射性廃棄物処分に係わる生活圏被ばく線量評価に用いられたパラメータ

深谷友紀子 (日本エヌ・ユー・エス (株))

14:05-14:45 (40分：一人15分+5分)

座長：福谷 哲 (京都大学)

スウェーデンの短寿命放射性廃棄物処分場安全評価における生活圏被ばく評価パラメータの考え方

加藤智子 (原子力機構)

フィンランドTURVA-2012における生活圏被ばく線量評価パラメータの考え方

中林亮 (電中研)

14:45-15:00 休憩

15:00-15:45 (45分：一人10分+5分)

座長：田上恵子 (量研機構)

パラメータの追跡調査結果とデータ比較(1) (土壌-農作物移行係数)

深谷友紀子 (日本エヌ・ユー・エス (株))

パラメータの追跡調査結果とデータ比較(2) (耕作地土壌固液分配係数)

孫思依 (東京大学)

パラメータの追跡調査結果とデータ比較(3) (棲息水-水産物移行係数)

平山誠 (日本エヌ・ユー・エス (株))

15:45-16:05 (20分 : 15分+5分)

座長 : 高橋知之 (京都大学)

生活圏被ばく線量評価に用いられたパラメータと最新データとの比較検討

田上恵子 (量研機構)

16:05-16:55 (50分 : 15分[指定発言者一人5分]+35分)

総合討論

座長 : 高橋知之 (京都大学)

指定発言者 : 内田滋夫 (量研機構)、武田聖司 (原子力機構)、中居邦浩 (日揮 (株))

主な論点

- ・ 国際的なデータベースへの日本のデータの反映
- ・ 日本独自のデータベースを作る必要性
- ・ 線量評価におけるデータベースの使い方 (不確かさの考え方)
- ・ データアーカイブの重要性 (データの散逸防止を含む)

16:55-17:00 (5分)

閉会の挨拶

福谷 哲 (京都大学)